

## 次の国語課題の設問に答えなさい。(答えはすべて解答用紙に記入すること)

「あの人は個性的な人だ」と、君が誰かのことを言う時、それはどういう意味でそう言っているだろうか。どこことなく人と違う、独特の感じがある、そういう雰囲気のある人のことだよ。

ところで一方、君が「個性的な人になりなさい」と、大人に言われることもあるだろう。そう言われて君は、どうしますか。

個性的になれと言われても、それはどんなふうになることを言うんだろう。強い人間になれと言われたら、つらいことも挫けない人間になることだな。優しい人間になれと言われたら、弱い人をいたわる人間になることだな。だいたいそんなふうに具体的にイメージすることができよね。

だけど「個性的になれ」と言われても、具体的なイメージなんて全然わいてこない。そうなれと言われている「個性」というもののおテホン<sup>①</sup>が見つからない。「個性」なんてもの、どこにあるのだろう。

当然君はそう思うだろう。そして、ああきつとそれは、「自分らしくなれ」ということだなと、君は何となく理解する。「私らしく」「あなたらしく」「自分らしく」と大人たちが言ってる、その「自分らしく」というのが、つまり「個性」ということだなと。

さて、そう理解した君は、「自分らしく」なろうとする。でも、自分が自分らしくなるって、いったいどうすればいいんだろう。自分というものは、人に言われなくなつて、自分だし、その自分が「自分らしい」なんて、同じもので同じものをテイギ<sup>②</sup>してるみたいで、何だかつかみどころがない。

そして君は、ああわかった、「自分らしい」ということは、自分の好きなことを言うのだなと、わかったような気がする。「自分らしくする」とは、「自分の好きなようにする」ということだ。「自分らしく生きる」とは、「自分の好きなことだけをして生きる」ということだなと。

君は、自分らしいということは、<sup>①</sup>これで正しいと思っっていますか。それぞれが、それぞれに「自分らしい」と思うこと、「A」「自分の好きなことだけをして、嫌いなことは決してしないで、生きてゆくこと」は正しいと思いますか。

たとえば、私は掃除が嫌いだから、皆が掃除をしても私は掃除をしない。だって自分らしくないから。あるいは、掃除をしないのは、もつと自分の好きな、自分らしい仕事があるはずだから。

そういう姿勢のことを「自分らしい」と言うなら、それは「自分勝手」と完全に同じことだね。げんに、大人の社会はそんなふうになりつつある。「自分らしく」なんて言いながら、自分が何を言っているのか理解していないからだ。「B」君は、「自分らしく」という言葉が出てきたら、注意して聞きましょう。そうでないと、「自分らしいこと」「本当に好きなこと」をいつまでも探し続けて、<sup>②</sup>大事な人生を棒に振ることになるかもしれないよ。

「本当に好きなこと」「本当の自分」というのがどこかにあつて、それを探さなくちゃいけないのだと、最近は大人数からして思い込んでいる。

これは大間違いだ。だって、何かが好きだけど、それが本当に好きなかどうか、どうして自分でわかるのだろう。たとえば君は、何かのゲームが好きで、今はムチュユ<sup>③</sup>になつている。だけどやがてそれにも飽きて、何か別の面白いことはいかなど、必ず探し始めるだろう。その時は好きだったけど、今は好きではないというのは、本当に好きではないということだ。でも、本当に好きなものが、きつとどこかにあるに違いないと探し続けて、結局何が好きだったのかわからずに終わる人生というのは、何だか空しい人生じゃないかな。

たくさんの若者や大人が落ち込んでいる「自分探し」というのは、<sup>④</sup>こういう不毛なものなんだ。

一方で、何が好きで自分らしいか、<sup>⑤</sup>うまく見つけられずに不安になる人は、今度は、他人の中に自分を見つけようとする。他人の中で自分らしいことが自分らしいことなんだとね。それが自己顕示という行動だ。他人に見られて認められた

い、他人に認められて、はじめて自分は自分になれると、そういう人は思ってしまう。

よくいるよね。目立ちたがりの人、わざと他人と違う行動をとって、自分は人とは違うんだと示したい人や、「私は」「俺は」とすぐに主張する人、あるいは、君にもあるんじゃないかな、人に嫌われたくなくて、人に好かれそうな行動を、つい取ってしまう。人の目ばかり気になって、本当に思っていることを言えないって、気の弱いタイプの人に多いみたいだ。

最近は何もがネットで人と交流しているけど、あの「ブログ」というのが、現代ふう自己顕示の典型だね。お互いにいっせいに、「私は」「俺は」と、誰だか知れない誰かに向かって主張している。誰でもいいからとにかく他人に認めてほしい。他人に認められなければ、自分を自分と認められないんだ。他人がいなければ、自分であることができないんだ。だとしたら、いったいどこが「自分らしい」ことなんだろう。他人の中に消えてしまっただけ、その人と「自分」なんか、どこにもないじゃないか。

他人から思われる自分が自分なのだと思う人は、やっぱり空しくなるはずだ。人に嫌われたくなくて、自分のいいところばかり見せようとしてしまう君だって、時々ひどく疲れちゃうだろう。エンギ⑦している自分に疲れて、きつこう感じるはずだ。「こんなの本当の私じゃない」「私は私らしく生きてない」。

おかしなことだね。「自分らしく」あろうとして始めたはずの自分探しののに、どうして人はいつまでも「本当の自分」を見つけれないのだろう。ひよっとしたら、「本当の自分」なんてのは、最初からないんじゃないか。ないものを見つければいいから、見つかるはずがないんじゃないか。

「本当の自分」と言葉で言われると、そういうものが「ある」と、どうしても人は思ってしまう。「C」「本当の自分」と言う時の、その「自分」とは、そもそも何なのか。それがわかっているのじゃなければ、それが見つからないのは決まっている。だって、それが何か分からないものを見つければいいのは、買い物に行って、何をかうのか分からないのに買おうとするのと同じように不可能だ。

「D」「人は、「本当の自分はこんなじゃない」と言う。あるいは「本当の自分が見つからない」と言う。そう言うっているその自分とは別の、何か違う自分があるはずだと、こう思っているんだね。だけど、おかしと思わないか。「違う」「そうじゃない」と言っているその自分とは、ではいったい誰なのだろう。それは自分じゃないのだろうか。

ああでもないこうでもない、とブツブツ言っている、その自分が、「ここ」にいる。これはどういうことだろう。悩んだり、文句を言ったり、自分を探したりしているその自分、自分探しをすることができるのは、まさに自分がいるからだということ。ものすごく当たり前のことに、君は気がつかないか。

自分らしくありたいけれど、その自分が「ない」と思うから、君は自分を探すのだったね。だけど、その自分は「ある」のでなければ、どうして君は自分を探することができるだろう。どこかへ探しに行かなくなったら、自分は、いま、ここに、確実に存在しているじゃないか。

人は、「自分」というものを、あれやこれやの自分のことだと思っている。あれが好きだったり、これが嫌いだったり、あるいは他人にどう見られるか、そういうのが自分なのだと思うっている。これが、コンボンの間違いなんだ。「自分」というのは、そういうあれやこれやの自分のことじゃない。いや、あれやこれやの自分でもあるけれど、そういう、あれやこれやの自分を、自分であるとか自分でないかと思っっているところの、この自分、これこそが「自分」、本当の自分というものだ。あれやこれやは、気分や状況や他人の思惑で、いくらでも変わってしまうけど、この自分の方は、変わらない。あれやこれやでは決して変わらないところの自分だ。さて、変わる自分と、変わらない自分、「本当の自分」はどっちだろう。

「本当の自分」は、今ここにあっての自分だから、どうしてどこかに探しに行く必要があるだろう。探すから、見つからないんだ。なぜなら、あれやこれやの自分なんてものは、じつは「ない」ものだからだ。「ない」ものが見つからないのは道理じゃないか。

逆に考えてみてもいい。本当の自分は「ある」と言っただけ、じゃあ、いったいそれは何だろう。それは、あれやこれやの自分じゃないから、これが自分だという仕方です示すことが、決してできないような自分だ。それなら、そんな自分も、じつは「ない」と言うこともできる。

さて、あって、ないもの、「自分」の不思議。この面白さに気がついたら、君は、みんながやってる自分探しなんて、つまらなくてやってられなくなるはずだ。

あれやこれやの自分探しの空しさに気がついて、そんなことをやめた君は、その時にこそ、本当に個性的な人になるだろう。

何が好きとか、他人からどう見られるかとか、そういうことが自分なんじゃない。「本当の自分」は、そういうことに関係なく、今ここにあることだ。そうわかった君は、そういうことに惑わされることなく、自分がそうである仕方です、自分であるようになるだろう。自分でどうしようとしなくても、自ずからその人は、その人がその人であるところの人になる。そういう「自分」が、すべての人には必ずあるんだ。それが本当の意味での「個性」なんだ。

④「自ら」ということと「自ずから」ということは違うことだ。「自ら」は、自分の意図でどうしようとすることだ。「自ずから」は、自分の意図によらずに自然にそういうふうになることだ。君は、自ずから、そうなる人になればいい。自らなろうとなんかしないでいい。そしたら君は、必ず個性的な人になる。

たとえば、絵を描くことが好きな君は、どうしてもそうとしか描けない自分の描き方があることに気がついていないか。先生や友人に何と言われようと、自分は、こう描きたい、こうとしか描けない。それが君の個性だ。

あるいは、友人の中でも、君は自分のものの感じ方が、皆とどうしても違っていることに気がつかないか。変だと言われども、自分にはどうしてもこうとしか感じられない。こうとしか振る舞えない。だとしたら、それが君の個性だ。

だから、個性というのは、自分の好き嫌いとは違うことがわかるだろう。だって、好きも嫌いも、自分にはこうとしかできないし、こうとしか感じられないんだから。好き嫌いなら選べるけれど、君は君の個性を選べなかったんだから。

そういう君の個性が、まわりの人とはひどく違ったものだとしたら、君が君らしく生きるということは、すごく大変なことだろう。世の人は、自分たちとはひどく違う人間を受け入れないからだ。それでも君は、自分らしく生きたい、妥協たかできないと思うなら、君は君の個性を最後まで全うすればいい。それで何かの仕事を為せば、後世は君を「天才」と認めるかもしれない。

こんなふうに、「個性」というのは、他人がそれを認めるもの、あれがあの人個性だと言つものであって、自ら求めるものではないんだ。君が誰かを個性的な人だと感じる時、その人は、どことなく人と違う、独特の雰囲気をもっているね。それは、その人が、自分で自分をどうしようという意図を持ってないからだ。自分がかもって生まれたその個性に従って、自ずからそうなる自分であるからだ。そういう本当に個性的な人間に、君はなりたいと思わないか。

「自分らしく」を求めることが、自分を自分らしくなくしている。この逆説について、もう一度ひとりで考えてみよう。

出典：池田晶子『14歳の君へ どう考えどう生きるか』毎日新聞社、二〇〇六年

(一部出題に合わせて表現を改めた)

問一 波線部①～⑩のカタカナは漢字に、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。

問二 空欄「A」～「D」に入る接続詞として適当なものを、ア～オから一つずつ選び記号で答えなさい(重複不可)。

ア しかし      イ ところで      ウ つまり      エ 例えば      オ だから

問三 傍線部(1)「これで正しいと思っ

問四 傍線部(2)「大事な人生を棒に振ることになるかもしれないよ」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 強い人間にも、優しい人間にも、弱い人をいたわる人間にも、決してなることができないから。

イ 大人たちの期待に応えることができず、結局は社会に認めてもらうことができない不毛なことだから。

ウ 掃除ばかりしていて、自分が本当にしたことをすることができずに人生が終わってしまうから。

エ よく分からないまま探し続けても、結局は見つけることができずに終わるかもしれないから。

問五 傍線部(3)「うまく見つけられずに不安になる人」は、自分らしさをどのように考え、どういった行動を取る傾向がありますか。文中の言葉を使って簡潔に説明しなさい。

問六 傍線部(4)「自ら」ということと「自ずから」ということは違うことだ」とあるが、それらと「個性」との関係はどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 他人によく見られようとする人は、「自ずから」個性を作ろうとしている。

イ 「自ずから」生じた個性は、決して社会に受け入れられることはない。

ウ 個性的な人になるために、「自ら」意識してなろうとする必要はない。

エ 自分にはどうしてもこうとしか感じられないような感性は、「自ら」形作られた個性である。

問七 本文の内容の説明として適当なものを、次のア～オのうちから二つ選びなさい。

ア 悩んだり、文句を言ったり、自分を探したりしているその自分こそが、いま、ここに、確実に存在している自分である。

イ 「本当に好きなこと」や「本当の自分」が必ずどこかに隠れているはずで、それを見つける努力を怠ってはいけない。

ウ 個性的であるためには、自ら理想的な自己像を常にイメージし、好き嫌いばかりを言わないような、よい人を演じていかなければならない。

エ 「本当の自分」というものは、そもそも何であるか分からないものなのだから、それが見つからないのは当然のことである。

オ 「個性的な人になりなさい」という大人は、「個性」について何も分かっていないのだから、そういう人の意見は無視しなければならない。

問八 二重傍線部「どこことなく人と違う、独特の感じがある、そういう雰囲気のある人」は、どうしてそのように感じられると筆者は述べていますか。七〇～一〇〇字で説明しなさい。その際、解答には必ず「意図」という言葉を用いること。

解答用紙

専攻	
受付番号	
氏	名

I

問八					問六	問五	問三	問二	問一		
								A	⑨	⑤	①
										しい	
								B	⑩	⑥	②
					問七		問四	C		⑦	③
								D		⑧	④
											きて

## II

以下の会話はアメリカの音楽大学に留学してきたピアニストの絵美(Emi)とその先生のバーマン先生(Mr. Berman)の会話です。次の英語を読んで間に答えなさい。

Emi: Hello, Mr. Berman.

Berman: Hi. ア It's been a while since I saw you. イ How are you ①(do)? Any good news?

Emi: Yes. I ②(go) to perform at an elementary school. ウ I played with Jack, the cellist, whom I met at the party after the concert in the church.

Berman: What ③(do) you play?

Emi: Cello Sonata by Chopin. It was written in (a)1846.

Berman: エ That must be a good experience for you.

Emi: But I was not sure whether\* my performance was good enough.

Berman: (b)Whether the performance was good or not is up to the person listening to it. So, don't worry too much. Okay. So today, will you play the Goldberg Variations\*?

Emi: (c)\_\_\_\_\_.

語彙:     whether                                 ～かどうか  
          the Goldberg Variations         ゴールドベルク変奏曲

出典:『音大生・音楽家のための英語でステップアップ 音楽留学で役立つ英会話 50 シーン』

問 1. 本文中の①～③の (         ) 内の単語を適切な形に直しなさい。

問 2. 下線部ア～エを日本語に直しなさい。

問 3. 二重傍線部(a)の年号の読みを英語のつづりで記しなさい。

問 4. 二重傍線部(c)にはバーマン先生発言に対する絵美の回答が入ります。適切な会話になるように自由に英語で答えなさい。

問 5. 次の日本語を英語に直しなさい。

(1) この作品(This piece)はショパンによって書かれました。

(2) ピアノを演奏するのをやめてくれませんか？

問 6. 二重傍線部(b)でバーマン先生は「パフォーマンスがよかったかどうかは聴いた人が決めることだ」と言っています。これに対してあなたはどのように思いますか。あなたの意見を英語 40 単語 (40words)程度の英語で書きなさい。

受験番号:

氏名:

問 1

①	②	③
---	---	---

問 2

ア
イ
ウ
エ

問3

--

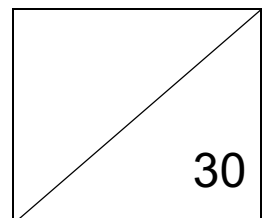
問4

--

問5

(1)
(2)

問6

Ⅲ

次の設問に答えなさい。(解答欄には答えのみでなく、途中の計算式も書きなさい。)

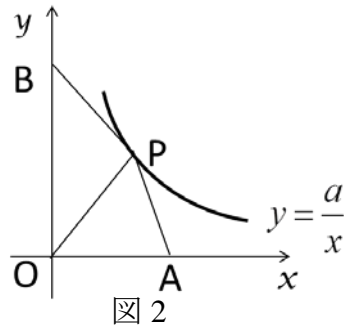
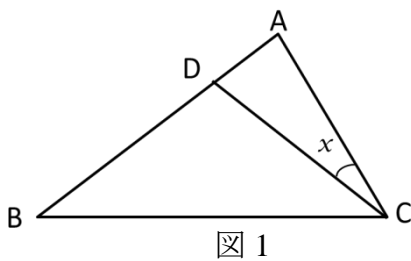
問1  $(6ab^2 - 4a^2b) \div 2ab$  を計算しなさい。

問2 1次方程式  $6x + 11 = 4x - 5$  を解きなさい。

問3  $x = \sqrt{3} + 1$  のとき、 $x^2 - 2x + 1$  の値を求めなさい。

問4 2次方程式  $x^2 - 3x + 6 = x + 18$  を解きなさい。

問5 図1で、 $\angle ABC = 40^\circ$ 、 $DB = DC = AC$  であるとき、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。



問6 図2のように、反比例  $y = \frac{a}{x}$  ( $a > 0$ ) のグラフ上に点Pがあり、点Pのx座標は4である。  
また、x軸上の点(6, 0)をA、y軸上の点(0, 9)をBとする。△OAPと△OBPの面積が等しいとき、aの値を求めなさい。

問7 2つの工場AとBで同じ製品を作る。この製品をAとBの両方の工場で12日間作ると9000個できる。また、A工場だけで10日間作った後、AとBの両方の工場で6日間作ると、同じく9000個できる。このとき、AとBのそれぞれの工場で1日に作ることができる製品の個数を求めたい。

- (1) A工場で1日に作ることができる製品の個数をx、B工場で1日に作ることができる製品の個数をyとして、xとyについての連立方程式を作りなさい。
- (2) 連立方程式を解いて、それぞれの工場で1日に作ることができる製品の個数を求めなさい。

問8 右の表のように、自然数が規則的にならんでいる。  
このとき次の問いに答えなさい。

- (1) 表の中の第6行で第2列の数を求めなさい。
- (2) 84は第何行で第何列の数か、求めなさい。

	第1列	第2列	第3列	第4列	第5列	...	...
第1行	1	2	5	10	17	·	·
第2行	4	3	6	11	18	·	·
第3行	9	8	7	12	·	·	·
第4行	16	15	14	13	·	·	·
·	·	·	·	·	·	·	·
·	·	·	·	·	·	·	·
·	·	·	·	·	·	·	·



解答用紙

専攻	受付番号	氏名	

Ⅲ (途中の計算式は省略)

問1		問2	
問3		問4	
問5		問6	
問7	(1)	問8	(1)
	(2)		(2)